



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 鉦研工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6297 URL <https://www.koken-boring.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 隆二郎
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理財務本部長 (氏名) 和泉 裕介 (TEL) 03(6907)7888
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 1,730 | △25.9 | △73 | — | △84 | — | △69 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | 2,335 | 61.6 | 42 | — | 15 | — | △3 | — |

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △70百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △5百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期第1四半期 | △8.18 | — |
| 2024年3月期第1四半期 | △0.42 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年3月期第1四半期 | 12,901 | 4,801 | 37.2 |
| 2024年3月期 | 13,488 | 4,973 | 36.9 |

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,801百万円 2024年3月期 4,973百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 2025年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2025年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,000 | 15.4 | 700 | 25.1 | 600 | 25.6 | 370 | 23.4 | 43.74 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2025年3月期1Q | 8,970,111株 | 2024年3月期 | 8,970,111株 |
| ② 期末自己株式数 | 2025年3月期1Q | 510,463株 | 2024年3月期 | 510,463株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2025年3月期1Q | 8,459,648株 | 2024年3月期1Q | 8,440,903株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 有 (任意)
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 5 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 6 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 9 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 10 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報等の注記) | 12 |
| 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書 | |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化による企業収益が改善するなど景気は緩やかな回復の動きが見られましたが、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や、地政学リスク等を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は気候変動の影響による激甚化・頻発化する自然災害に対する防災・減災、能登半島地震などの大規模地震対策の強化、リニア中央新幹線建設、高速道路の社会インフラ維持メンテナンスの需要などの社会資本整備が不可欠な状況であり、建設投資は今後も底堅く推移していくことが見込まれております。当社グループにおきましては、為替の変動や原材料価格の高騰等が企業の設備投資意欲を減退させる懸念はあるものの、堅調に推移している公共工事を背景として、当面は底堅い受注環境が見込まれております。

こうした情勢下でありまして、当第1四半期連結累計期間の受注高は、ボーリング機器関連においては、ほぼ前年同四半期と同水準となりました。工事施工関連においては、リニア中央新幹線等のトンネル工事や温泉工事の受注が増加したため、前年同四半期を上回りました。売上高につきましては、ボーリング機器関連においては顧客都合による出荷繰延等の影響により、工事施工関連においてはトンネル工事の遅延等により前年同四半期を下回りました。

以上の結果、受注高は前年同四半期比27.0%増の3,185百万円、売上高は同25.9%減の1,730百万円となりました。利益面におきましては、売上高の減少を主因に、営業損失は73百万円（前年同四半期は営業利益42百万円）、経常損失は84百万円（前年同四半期は経常利益15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は69百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日 | 前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日 | 前年同四半期比較 | |
|-------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------|------------------|
| | | | 増減額 (A)-(B) | 増減率 (A)/(B)-1 |
| 受注高 | 3,185 | 2,508 | 677 | 27.0% |
| 売上高 | 1,730 | 2,335 | △604 | △25.9% |
| 営業利益又は営業損失 (△) | △73 | 42 | △115 | －% |
| 経常利益又は経常損失 (△) | △84 | 15 | △100 | －% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△) | △69 | △3 | △65 | －% |

(百万円未満は切り捨てて表示しております。以下、同じ。)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

受注高は海外案件を除きほぼ計画通りに推移し、前年同四半期とほぼ同水準を確保いたしました。売上高につきましては、顧客都合による出荷繰延等の影響により、前年同四半期を下回りました。

第2四半期以降につきましては、中国市場向製品の受注などが見込まれているほか、主力製品のロータリーパーカッションドリルや個社オーダーの自動掘削機などの出荷が見込まれております。

上記の結果、売上高につきましては、前年同四半期を395百万円下回り、1,064百万円（前年同四半期比27.1%減）となりました。利益面では個別原価の管理を行うことにより、原価率は改善傾向にありましたが、売上高の減少を主因として、61百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益11百万円）を計上いたしました。

（単位：百万円）

| | 当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日 | 前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日 | 前年同四半期比較 | |
|----------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------|------------------|
| | | | 増減額 (A)-(B) | 増減率 (A)/(B)-1 |
| 受注高 | 1,957 | 1,926 | 31 | 1.6% |
| 売上高 | 1,064 | 1,459 | △395 | △27.1% |
| セグメント利益又は損失(△) | △61 | 11 | △72 | -% |

② 工事施工関連

受注高につきましては、リニア中央新幹線等のトンネル工事や温泉工事、大型アンカー工事の受注が増加したため、前年同四半期を大幅に上回りました。売上高につきましては、トンネル工事や大型アンカー工事が計画通りに進捗しなかったため、前年同四半期を下回りました。

第2四半期以降につきましては、今後始まる大型プロジェクトの受注を確実にするとともに、ベナンODA工事の進捗が見込まれており、売上の回復と原価管理の強化により、利益の確保を目指してまいります。

上記の結果、受注高は前年同四半期と比べると645百万円上回り、1,228百万円（前年同四半期比110.8%増）となりました。売上高につきましては、前年同四半期より209百万円減少し、666百万円（前年同四半期比23.9%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少を主因として、12百万円のセグメント損失（前年同四半期はセグメント利益30百万円）を計上いたしました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 連結累計期間(A) 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日 | 前第1四半期 連結累計期間(B) 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日 | 前年同四半期比較 | |
|----------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------|------------------|
| | | | 増減額 (A)-(B) | 増減率 (A)/(B)-1 |
| 受注高 | 1,228 | 582 | 645 | 110.8% |
| 売上高 | 666 | 875 | △209 | △23.9% |
| セグメント利益又は損失(△) | △12 | 30 | △43 | -% |

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して586百万円減少し、12,901百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）が171百万円増加しましたが、現金及び預金が355百万円、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権）が356百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して482百万円減少し、7,723百万円となりました。

有形及び無形固定資産は、建物、工具器具備品、ソフトウェアなどで21百万円の設備投資を行いました。61百万円の減価償却を実施したことなどから、有形及び無形固定資産は53百万円減少し4,806百万円となりました。

投資その他の資産は、繰延税金資産が3百万円、その他の投資その他の資産が47百万円それぞれ減少したことなどにより371百万円となりました。以上の結果、固定資産合計では前連結会計年度末と比較して104百万円減少し、5,177百万円となりました。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して414百万円減少し、8,100百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が81百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が36百万円それぞれ増加しましたが、仕入債務（支払手形及び買掛金、電子記録債務、工事未払金）が177百万円、未払法人税等が118百万円、その他の流動負債が140百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して280百万円減少し、4,025百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が14百万円、長期借入金が95百万円、繰延税金負債が29百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して134百万円減少し、4,074百万円となりました。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失で69百万円、剰余金の配当により101百万円それぞれ減少したことなどにより前連結会計年度末と比較して171百万円減少し、4,801百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.3ポイント増加し、37.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,678,544 | 1,322,700 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 2,337,492 | 2,127,849 |
| 電子記録債権 | 596,461 | 450,082 |
| 商品及び製品 | 2,312,332 | 2,441,784 |
| 原材料及び貯蔵品 | 587,614 | 562,759 |
| 仕掛品 | 603,140 | 670,282 |
| その他 | 90,387 | 148,271 |
| 流動資産合計 | 8,205,974 | 7,723,731 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,232,754 | 2,203,567 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 335,953 | 317,924 |
| 土地 | 1,986,896 | 1,986,896 |
| その他（純額） | 83,840 | 92,678 |
| 有形固定資産合計 | 4,639,445 | 4,601,067 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 181,704 | 169,315 |
| その他 | 38,703 | 36,146 |
| 無形固定資産合計 | 220,407 | 205,461 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,107 | 8,459 |
| 繰延税金資産 | 43,668 | 39,956 |
| その他 | 372,261 | 324,660 |
| 貸倒引当金 | △1,800 | △1,700 |
| 投資その他の資産合計 | 422,237 | 371,375 |
| 固定資産合計 | 5,282,089 | 5,177,904 |
| 資産合計 | 13,488,063 | 12,901,635 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2024年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 490,131 | 456,215 |
| 電子記録債務 | 555,917 | 395,346 |
| 工事未払金 | 104,272 | 120,864 |
| 未払費用 | 242,164 | 279,010 |
| 契約負債 | 40,322 | 43,027 |
| 短期借入金 | 1,860,000 | 1,900,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 389,852 | 386,479 |
| 未払法人税等 | 134,654 | 16,282 |
| 製品保証引当金 | 4,628 | 2,888 |
| 賞与引当金 | 188,530 | 270,362 |
| 工事損失引当金 | - | 500 |
| その他 | 295,314 | 154,389 |
| 流動負債合計 | 4,305,788 | 4,025,367 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,396,586 | 3,301,232 |
| 役員退職慰労引当金 | 36,744 | 37,642 |
| 退職給付に係る負債 | 608,421 | 593,975 |
| 資産除去債務 | 21,891 | 21,923 |
| 繰延税金負債 | 68,444 | 39,351 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 15,230 | 15,230 |
| その他 | 61,783 | 65,352 |
| 固定負債合計 | 4,209,104 | 4,074,709 |
| 負債合計 | 8,514,892 | 8,100,076 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,165,415 | 1,165,415 |
| 利益剰余金 | 4,175,386 | 4,004,707 |
| 自己株式 | △290,561 | △290,561 |
| 株主資本合計 | 5,050,239 | 4,879,561 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 45 | 196 |
| 土地再評価差額金 | △124,007 | △124,007 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 46,893 | 45,808 |
| その他の包括利益累計額合計 | △77,068 | △78,002 |
| 純資産合計 | 4,973,171 | 4,801,559 |
| 負債純資産合計 | 13,488,063 | 12,901,635 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|-------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 2,335,002 | 1,730,453 |
| 売上原価 | 1,687,483 | 1,245,207 |
| 売上総利益 | 647,519 | 485,246 |
| 販売費及び一般管理費 | 604,983 | 558,648 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 42,535 | △73,402 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 689 | 52 |
| 受取保険金 | 2,808 | 10,479 |
| その他 | 1,947 | 4,179 |
| 営業外収益合計 | 5,445 | 14,711 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18,993 | 21,101 |
| 為替差損 | 13,258 | 4,804 |
| その他 | 410 | 309 |
| 営業外費用合計 | 32,662 | 26,215 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 15,318 | △84,905 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 257 | 265 |
| 特別損失合計 | 257 | 265 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 15,061 | △85,170 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,864 | 8,959 |
| 法人税等調整額 | △23,271 | △24,968 |
| 法人税等合計 | 18,592 | △16,008 |
| 四半期純損失(△) | △3,530 | △69,162 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △3,530 | △69,162 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 四半期純損失(△) | △3,530 | △69,162 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 56 | 150 |
| 退職給付に係る調整額 | △1,541 | △1,084 |
| その他の包括利益合計 | △1,485 | △933 |
| 四半期包括利益 | △5,016 | △70,096 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △5,016 | △70,096 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) |
|---------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 減価償却費 | 62,040千円 | 61,669千円 |
| のれんの償却額 | 12,388 | 12,388 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2 |
|-----------------------|---------------|---------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ボーリング 機器関連 | 工事施工関連 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,459,430 | 875,572 | 2,335,002 | — | 2,335,002 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,294 | — | 4,294 | △4,294 | — |
| 計 | 1,463,724 | 875,572 | 2,339,296 | △4,294 | 2,335,002 |
| セグメント利益 | 11,373 | 30,688 | 42,061 | 474 | 42,535 |

(注) 1. セグメント利益の調整額474千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2 |
|-----------------------|---------------|---------|-----------|--------------|----------------------------|
| | ボーリング 機器関連 | 工事施工関連 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,064,376 | 666,077 | 1,730,453 | — | 1,730,453 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 8,523 | — | 8,523 | △8,523 | — |
| 計 | 1,072,900 | 666,077 | 1,738,977 | △8,523 | 1,730,453 |
| セグメント損失(△) | △61,611 | △12,356 | △73,967 | 565 | △73,402 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額565千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年8月9日

鈺研工業株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所
東京都中央区

| | | |
|----------------|-------|------|
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 工藤和則 |
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 遠藤洋一 |
| 指定社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 新藤弘一 |

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている鈺研工業株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれておりません。